

## 九州地区本部第40回定期大会開催



財前委員長

8月24日(土)、北九州市内において、第40回九州地区本部定期大会が開催され、今後の活動方針が満場一致で決されました。

執行部を代表して財前委員長は、「2017年12月16日に発生した千早操車場死亡労災から6年以上が経過し、私も葬儀に参列したが、悲しみに泣き崩れる家族の姿は今でも忘れることはない。重大事故・重大労災を「起こさない・起こさせない」ことを目標に取り組んでいるが、JRグループ全体をみれば、死亡労災が発生しており、その現実を重く受け止めなければならない。人間は間違いを起こす生き物であり、ミスは必ず

起きてしまうが、そのあとどうするかがとても重要であり、組合員全員が一丸となって安全最優先の取り組みをお願いしたい。会社の経営状況は極めて厳しく、2024春闘・夏季手当は低額回答となった。将来展望が見えない中、離職者が増加しており、本部と連携し労働条件向上の取り組みを強化していく。

2024問題、線路使用料改定等の政策課題はJR連合・JR連合国会議員懇の協力が必要となり、来たる衆議院議員選挙、北九州市議会議員選挙に最大限のご協力をお願いしたい。組織については、まず私たちが本気にならなくてはならない。JR総連とJR連合の組織数をみれば、大きくJR連合が上回っており、自信と勇気をもって組織拡大に取り組んでほしい」と強く訴えました。



山田候補



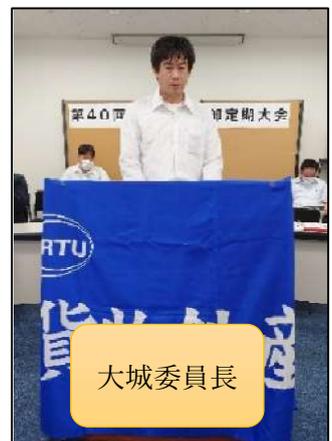
田中副議長

来賓には、連合九州地協田中副議長・九州ロジスティクス労働組合大城委員長・北九州市議会議員選挙山田候補にお越しいただき、2024年問題等を含め政策課題は政治の力が必要であり、貨物民主化においても最大限協力したい等、連帯のあいさつがありました。

続いて、中央本部辻村執行委員長からは、会社状況を含め、我々を取り巻く政策課題・組織対策を述べられ、その後、執行部より経過報告・決算報告・活動方針案・予算案が提起され、質疑に移りました。

質疑応答では、要員や異動問題・フレックス制度の問題点、副業の解禁、小倉車両所の将来展望等が出され、本部及び執行部より答弁し、最後に財前委員長による団結ガンバローで大会は終了しました。

今大会では、長年にわたり執行部を務めた原書記長が退任され、大会終了後は場所を移動し、楽しく親睦会を開催しました。



大城委員長